

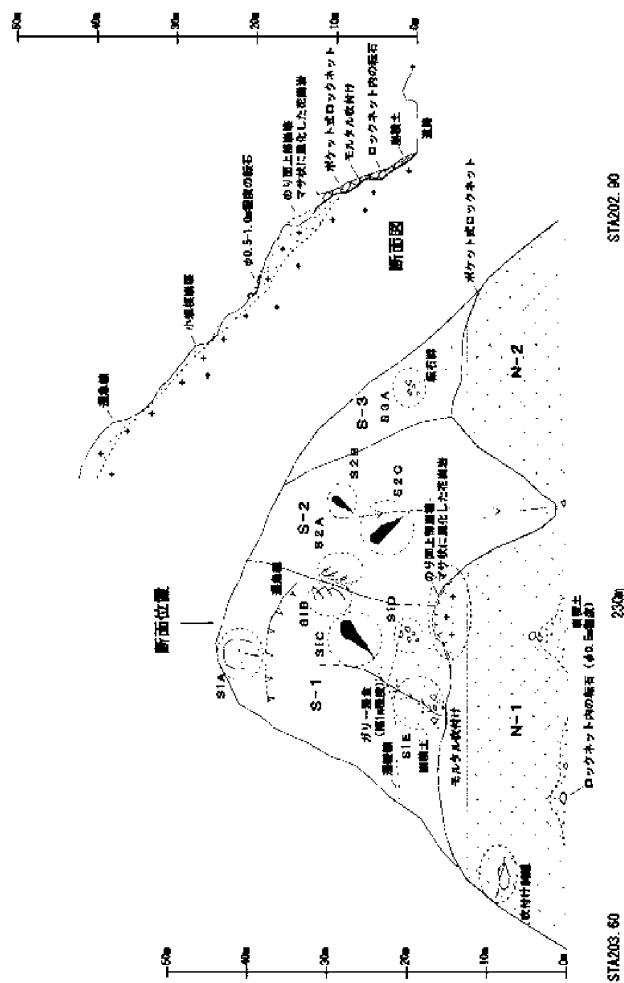
様式ー16 被災履歴記録表

															管理機関名																																		
															管理機関コード																																		
施設管理番号				被災種別				発生位置		距離標(自)				(至)		上・下・他																																	
H8年度防災点検箇所				該当・非該当				東		北		緯				世界測地系・日本測地系																																	
平面図(被災・対策)															断面図(被災・対策)																																		
スケッチ・現況写真															特記事項																																		
																														発生年月日		平成		年		月		日											
																														規模		幅、長さ、深さ(m)		m、		m、													
																														誘因		降雨:連続 コメント:		mm		最大		mm/hr		地震:震度		加速度		gal					
																														被害		人身:死者 コメント:		人、負傷者		人、		物損:		被害額:		百万円							
																														通行止実績		全面		時間、片側		時間、片側		時間、片側		時間、片側		時間、片側		なし					
対策工		施工年度:		対策工種:		対策工種:		対策工種:		対策工種:		対策工種:		対策工種:		百万円																																	

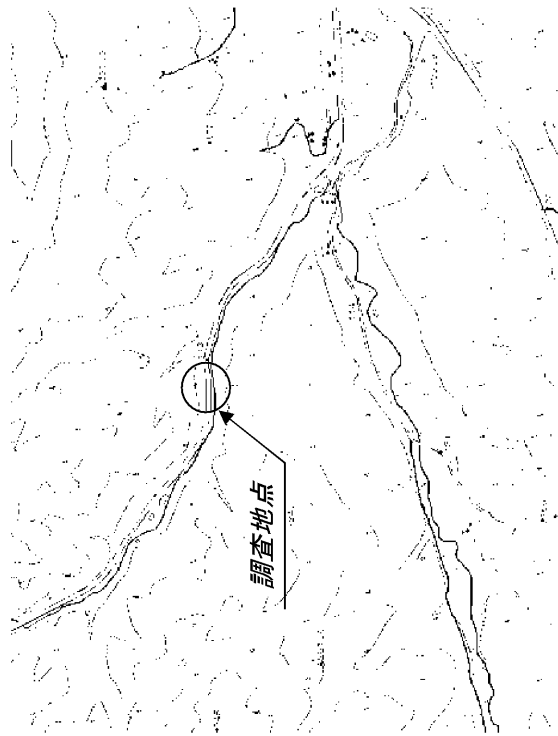
表-4.2.2 箇所別記録表(落石・崩壊)記入例

[illegible]

スケッチ・現況写真(既設対策工、位置目印との位置関係が分かるもの)



位置図 (縮尺1/25,000)



特記事項	点検実施: H * * 年 * * 月 * * 日 天候 (晴・曇・雨) 調査方法: 地表踏査、目視点検、空中写真判読
被災履歴	有 (1. 被災履歴記録表参照 2. 詳細不明:)・無 (H8年度以降)
重要点検対象項目	対応施設管理番号:
有・無	落石・崩壊・岩盤崩壊・地すべり・雪崩・土石流・盛土・擁壁・橋梁・地吹雪・その他
平成6年度点検結果	評点 (77点) 総合評価 (B) 対策が必要とされる 防災カルテを作成し対応する。特に新たな対応を必要としない。/ 対応 (案7・施工中 (未着手))
平成18年度点検結果	評点 (のり面73点 / 自然斜面77点) 総合評価 (B) 対策が必要とされる 防災カルテを作成し対応する。特に新たな対応を必要としない
予想災害規模	吹付けの裏面の崩壊 (高7m × 幅10m × 深1m)、上部斜面からの浮石型落石 (φ1~2m)
想定対策工	工種: のり面整形 ロックネット工 その他:
地震時の安定性 (落石・崩壊のみ): 安定 (不安定)	

表一4. 2. 4 被災履歴記録表 記入例

施設管理番号 N * * A 0 0 4										被災種別		落石・崩壊		発生位置		距離標(自)		1 8 4		8 0		(至)		1 8 5		0		上(下)地		管理機関コード		管理機関名		〇〇 地方整備局	
H8年度防災点検箇所										該当・ <u>非該当</u>		北緯		31° 37' 03.0"		東経		130° 22' 45.0"		世界測地系・ <u>日本測地系</u>												〇〇 国道事務所			
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					
断面図(被災・対策)																																			
平面図														断面図(対策工箇所)																					

表-5.1.1 箇所別記録表(落石・崩壊)記入例

施設管理番号	N	*	*	*	A	0	0	1	点検対象項目	落石・崩壊	路線名	一般国道**号	位置目印	距離標(自)	2	0	2	9	0	至	2	0	3	6	0	管理機関コード	管理機関名	〇〇 地方整備局 〇〇 国道事務所
事業区分	一般	有料	道路種別	一般国道(指定区間)	現道・旧道路区分	現道	所在地	〇〇郡〇〇町字**	位置目印	距離標(自)	2	0	2	9	0	至	2	0	3	6	0	管理機関コード	管理機関名	〇〇 地方整備局 〇〇 国道事務所				
事前通行規制区間指定	有	通行(特殊)	無	規制基準等	連続雨量200mm	時間雨量60mm	交通量	平日600台/12h	休日1,000台/12h	DID区間	該当(非該当)	バス路線	該当(非該当)	迂回路	有	無	緊急輸送道路区分	指定有	指定無									

スケッチ・現況写真(既設対策工、位置目印との位置関係が分かるもの)

位置図 (縮尺1/25,000)

被災履歴	有	(1. 被災履歴記録表参照)	(2. 詳細不明)	・ 無 (H6年度以降)
重複点検対象項目	有	・ 無	対応施設管理番号:	
平成3年度点検結果	有	・ 無	落石・崩壊・岩盤崩壊・地すべり・雪崩・土石流・盛土・土流・擁壁・橋梁・地吹雪・その他	
平成18年度点検結果	有	・ 無	詳細(77点)総合評価(対策が必要とされる) 防災カルテを作成し対応する(特に新たな対応を必要としない) 対応(完了・施工中・未着手)	
予想災害規模	有	・ 無	詳細(77点)総合評価(対策が必要とされる) 防災カルテを作成し対応する(特に新たな対応を必要としない) 対応(完了・施工中・未着手)	
想定対策工	有	・ 無	工種: のり面整形 ロックネット	
地震時の安定性(落石・崩壊のみ): 安定	有	・ 無	不安定	

特記事項

点検実施: H **年 **月 **日 天候(晴)曇(雨)

調査方法: 地表踏査、目視点検、空中写真判読

所 見:

(評価理由)

N-1上部では吹付モルタルが剥け落ち、マシ化した花崗岩が露出する。終点付近では長さ15m程度で横方向に亀裂が走り、亀裂に沿って高さ2m×幅8m程度の範囲にわたってモルタルが剥離している。ロックネット内部には、モルタル剥離箇所や上部斜面からの崩壊土・小落石が認められる。一方、N-2には目立った変状は認められない。

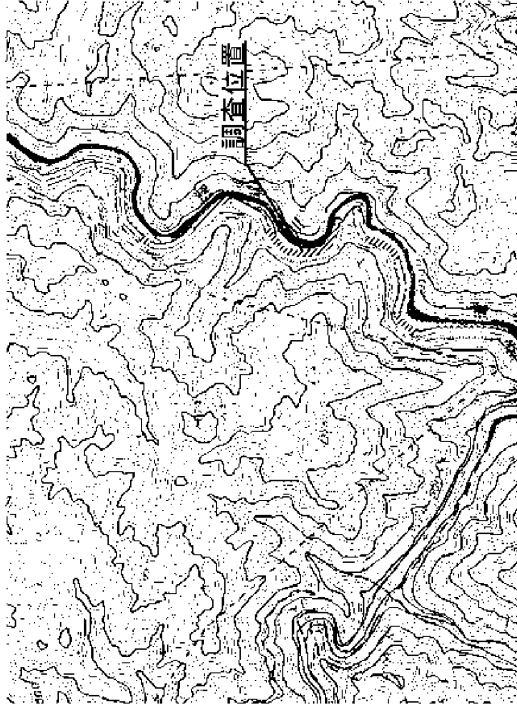
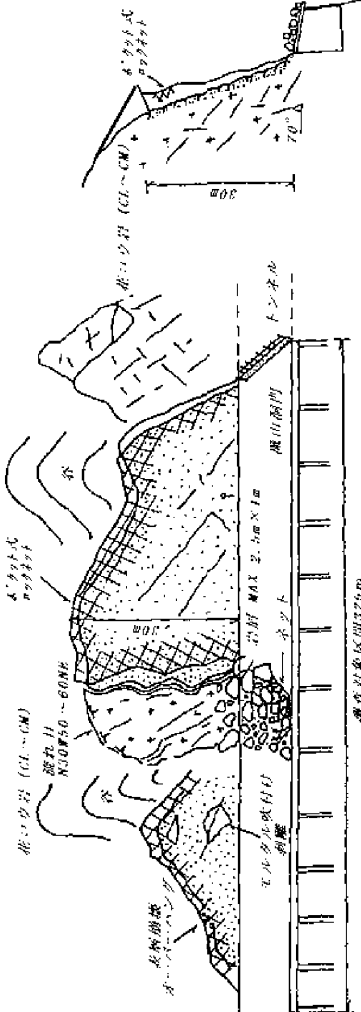
上部斜面では、S-1およびS-2に小規模な表層崩壊が認められ、斜面下に厚さ0.5~1m程度の崩壊土が分布する。このうちS-1では、崩壊土上にガリ・浅食が発達する。S-1、S-2境界の崖根前には、崩壊土が堆積してブロック状を呈する花崗岩の露頭がみられる。S-1の斜面下部には、本露頭起源と推定される小規模な崩壊土が存在する。

モルタル吹付け部の補修のほかに、S1b、S2aで想定される比較的大きな浮石性落石に対する予防工(グラウンアンカー工)の設置が求められる。また、斜面上部に認められる崩壊地形に関しては、現時点では表層部に限った小規模なものであるが、カルテを作成して崩壊の進行を監視する必要がある。

表一5. 2. 2 箇所別記録表(岩盤崩壊)記入例

施設管理番号 N * * * B 0 0 1										一般国道 ** 号										路線名										岩盤崩壊										道路種別										一般国道(指定区間)										現道										所在地										〇〇郡〇〇町字**										位置目印										距離(自)										1 / 7 / 4										7 / 5										至										1 / 7 / 8										0 / 0										上・下・他										延長										325 m																																																																																																																																	
事業区分 (一般)										道路種別										有										通行(特殊)										無										規制基準等										連続雨量 200mm										時間雨量 80mm										交通量										平日 800台/12h										休日 1,000台/12h										DID区間										該当(非該当)										バス路線										該当(非該当)										緊急輸送道路区分										有・無										東経										132° 21' 31.0"										世界測地系・日本測地系										指定有・指定無										管理機関コード										* * * * *										* * * * *										* * * * *										* * * * *										* * * * *										* * * * *										管理機関名										〇〇 地方整備局										〇〇 国道事務所									

スケッチ・現況写真(既設対策工、位置目印との位置関係が分かるもの)

位置図 (縮尺1/25,000)

被災履歴		有 (1. 被災履歴記録表参照 2. 詳細不明)		無 (H8年度以降)	
重傷点検対象項目		対応施設管理番号:			
有・無		落石・崩壊・岩盤崩壊・地すべり・雪崩・土石流・盛土・擁壁・橋梁・地吹雪・その他			
平成8年度点検結果		詳点(77点)総合評価(劣化)が必要とされる。防災カルテを作成し、特に新たな対応を必要としない。/ 対応(劣化)中(未着手)			
平成18年度点検結果		詳点(78点)総合評価(劣化)が必要と判断される。防災カルテを作成し、特に新たな対応を必要としない			
予想災害規模		吹付け法面上部の崩落 高さ7m×幅10m×深さ1m=70m ³			
想定対策工		工種: ロックネット その他: 緩衝材敷設工			

特記事項

点検実施: H * 年 * 月 * 日 天候: (晴・曇・雨)

調査方法: 地表踏査、目視点検

所 見: 崩壊位置: 起点側より約50mの地点
(評価理由) 崩壊形態: 〇〇洞門上部のり面の吹付け部崩壊、のり面勾配よりやや緩い流れ目状の割れ目が発達し、割れ目沿いに岩質が劣化している。

崩壊方向
崩壊の規模: ロックネットにより、崩壊土砂の衝撃が多少緩和され、河川への崩落を防いでいる。放置すると、トンネル側のり面が崩壊する可能性が高いため対策が必要と判断される。

施設管理番号	N	*	*	*	*	B	0	0	1	部分記号
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

表－5. 2. 3 安定度調査表(岩盤崩壊)の記入例

点検者	防災太郎
所属機関	〇〇〇株式会社

要因(A)

項目	要 因	評 点 区 分	配点	評点
現象・前兆	開口亀裂の規模	大 小 なし	(30) 15 0	30 (30)
	連続する水平系亀裂の目の方向	流れ目方向 受け目方向 なし	(10) 5 0	10 (10)
	小崩壊・落石	有り なし	(7) 0	7 (7)
	亀裂等の状況	規則的で間隔が1m以上 規則的で間隔が1m未満 不規則 なし	15 (11) 7 0	11 (15)
岩盤の状況	硬い岩	規則的で間隔が1m以上 規則的で間隔が1m未満 不規則 なし	11 7 4 0	0 (11)
	軟い岩	上部硬質/下部軟質 上部軟質/下部硬質 全体が軟質 全体が硬質	7 5 2 0	0 (7)
	岩盤崩壊の恐れ	上部硬質/下部軟質 上部軟質/下部硬質 全体が軟質 全体が硬質	(15) 5 0	15 (15)
	地	のり面 斜面の傾斜 60°以上 60°未満	(4) 2 0	4 (4)
地形	崖壁の高さ	100m以上 50～100m 30～50m 30m以下	10 7 (4) 2	4 (10)
	斜面型	尾根型斜面 崖壁堆積斜面 谷型斜面 尾根型・谷型の中間斜面	(4) 3 1 0	4 (4)
	運急線	明瞭 どちらともいえない 不明瞭	(7) 4 0	7 (7)
	地下水・降雨	凍結融水 湧水 水柱	(4) 2 0 (2) 1 0	4 (4) 2 (2)
合 計			(A)	98 点

対策(B)

既設対策工の効果の程度	点数(α)	評点
想定される岩盤崩壊を十分に予防している、もしくは、それが発生したとしても十分に防護し得る。	×0点	
想定される岩盤崩壊をかなり予防している、もしくは、それが発生した場合かなり防護しているが、万全ではない。	(-20点)	-20
想定される岩盤崩壊を一部予防している、もしくは、それが発生した場合一部を防護しているが、その他の部分に対しては効果がでない。	-10点	
対策がなされていない、もしくは、対策がなされていても、効果があまり期待できない。	±0点	
合 計	(B)	78 点

総合評価

対 応	判 定
対策が必要と判断される。	○
防災カルテを作成し対応する。	
特に新たな対応を必要としない。	

注)()は各項目の満点を示す。
該当する場合は配点欄に○印をつけると共に点数を記入する。
不明な場合は中間的な値を採用する。

表一5. 3. 2 箇所別記録表(地すべり)記入例

施設管理番号	N	*	*	C	0	0	1	点検対象項目	地すべり	路線名	一般国道**号	距離(自)	3	6	1	9	0	至	3	6	2	1	0	管理機関コード	管理機関名										○○ 地方整備局 ○○ 国道事務所				
事業区分	(一般)		有料	道路種別				一般国道(指定区間)	現道	所在地	○○郡○○町字**	位置目印	距離(自)				3	6	1	9	0	至	3	6	2	1	0	管理機関名										○○ 地方整備局 ○○ 国道事務所	
事前通行規制区間指定	(有)		(通行)	(特殊)	無	規制基準等				連続雨量200mm	時間雨量80mm	交通量	平日900台/12h	休日1,100台/12h	D/D区間	該当(非該当)	ハズ路線	該当(非該当)	迂回路	有(無)	緊急輸送道路区分										(指定有)・指定無								

スケッチ・現況写真(既設対策工、位置目印との位置関係が分かるもの)

断面図

平面図

特記事項

点検実施: H **年**月**日 天候: (晴)・(雨)

調査方法: 地表踏査、目視点検

所見: モルタル吹付工の斜面最上部に約30cmの段差が認められる。ブロック積みのは法断面には、(評価理由) 圧縮性の亀裂が認められる。モルタル吹付部の地すべりの兆候は平成2年度の防災点検で指摘され、その後ブロックウェンズの設置やモルタル吹付けが実施されている。ただし、今回ブロック積み新たに変状があることから、地すべり変動が沈静化しているとは判断しがたい。

被災履歴	有 (1. 被災履歴記録表参照 2. 詳細不明:)・(無) (H8年度以降)	
重複点検対象項目	対応施設管理番号:	
有・(無)	落石・崩壊・(落石崩壊)・地すべり・雪崩・土石流・盛土・擁壁・橋梁・地吹雪・その他	
平成8年度点検結果	評点(77点)総合評価(劣化)が重要とされ、防災カルテを作成し対応する。特に新たな対応を必要としない。/対応。(完了・施工中・未着手)	
平成18年度点検結果	評点(45点)総合評価: 対策が必要と判断される。(防災カルテを作成し対応する。特に新たな対応を必要としない)	
予想災害規模	豪雨等で地すべりが滑動破壊した場合、トンネル坑口から約10m間が埋塞(土量10,000m³)する可能性あり	
想定対策工	工種: のり砕工 その他: アンカー工	